

議員研修会

議会議員のなり手問題を考える

11月5日開催



講演する田口氏

幸田町議会は、「幸田町議会議員のなり手問題を考える」をテーマに、新潟県立大学准教授、田口一博氏を講師に迎え、議員研修会を開催した。

田口氏は研修会前に、車中から町内の重要施設、企業などを見学された。

そして、開口一番「これだけ裕福な町、住民生活が安定している町、議員に何かを頼むことが少ないのも一つの要因ではないか」と。

昨年の町議会議員選挙は、初の定数割れとなり、2回連続の無投票となった。町議会として、今後住民に関心を持ってもらうには、「議員の魅力づくりは、議員の報酬は」などの質問を。

- 田口氏は、町村議会に求められることは、首長、議員とは対立・対抗の「三元的代表」ではなく、広く関係者が集う「場」とするところが大切。
- 幸田町議会はどのように。
- (1) 議員だけの議会ではなく、住民とともにある議会とする。(公聴会など)
 - (2) セカンド・オピニオンを聞いて評価する議会。(第三者の意見聴取など)
 - (3) 女性議員増のための議会への住民参加と地域活動の支援。
 - (4) 議案などの平易化、審議資料のわかりやすさ。
 - (5) さまざまな「議会参画員」を考える。
 - (6) 執行機関への質問中心の会議運営は妥当か。
 - (7) 議場に籠もらずに、住民の中へ！



熱心に研修を受ける

様々な方向性を示めされた。町民からの声を待つだけではなく、住民の中に入り、若者男女の小さな声を聞き、住民とともにある議会をつくってほしい。

議員の寄附行為の禁止

政治家(後援団体)が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、皆さんが政治家に寄附を求めることも禁止されています。

- たとえば、
- ・お祭りや運動会など、地域行事への寄附や差し入れ(催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合は除く)
 - ・お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
 - ・年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状(答礼のための自筆は除く)

※地域で行なわれる行事などで、会費や実費の伴うものの案内をする場合には、会費を必ず明示して通知してください。

令和元年11月13日、全国町村議会議長会創立70周年記念式典にて、丸山千代子議員が表彰されました。

これは、議員在職通算30年以上の永きにわたり、地方自治の振興に寄与された功績によるものです。



丸山千代子議員
在職30年以上
永年功労者表彰

追跡レポート

高齢者外出支援タクシー 利用助成



高齢者のデイサービス（老人福祉センター）

6月1日から一人暮らしまたは高齢者のみの世帯で、一定の要件（後述）に該当する方の外出を支援するため、タクシー利用料金の一部を助成する制度が始まった。

◇対象者数とその状況

761人が対象で、11月末時点で376人が申請済み。申請率49・4%。

◇11月末までの利用状況

タクシーを利用した人数は175人（利用率は46・5%）で、延べ1032回利用されている。

◇利用者の声

- ・通院などで、普段からタクシーを良く使うので助かっている。
- ・普段、車に乗っている人には、必要のないのではないか。
- ・高額所得者には少なく、低所得者には多く配布してほしい。
- ・同じ敷地内に家族が住んでいる人には配布しなくてもよいのではないか。
- ・家族と同居しているが昼

◇まとめ

役場に寄せられた疑問の中に、使う予定がない人にはタクシー券はいらないのではないか、という意見があった。担当者は、体調が悪い時などに使ったいただくように説明している。



15枚つづりのタクシー券

制度のあらまし

・対象者

町内在住在宅の80歳以上の一人暮らし又は80歳以上の高齢者のみの世帯の方で次の要件に該当する方。
①医療・福祉・介護施設に入院や入所していない方
②障害者タクシー料金助成対象でない方

・助成内容

タクシーの普通車初乗り運賃（1回600円）で年間15回まで

障がいをお持ちの方への助成制度

障害者タクシー料金助成

身体障害者手帳1級から3級、療育手帳A又はB判定、精神障害者保健福祉手帳1級又は2級のいずれかの手帳をお持ちの方で、自動車税又は軽自動車税の減免を受けられていない方には、年間3万5000円まで助成が受けられる制度がある。

11月末現在、身体障害者793人、療育手帳を持っている方206人、精神障害者保健福祉手帳を持っている方285人が利用券の交付を受けている。

